

明るい選挙 啓発ポスターコンクール

令和2年度 全国優秀作品集



公益財団法人 明るい選挙推進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



ごあいさつ

公益財団法人明るい選挙推進協会会長 佐々木 毅



公益財団法人明るい選挙推進協会は、都道府県選挙管理委員会連合会との共催で、全国の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒を対象に、令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しました。ご協力いただきました全国の選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会及び教育委員会・学校の皆様に御礼申し上げますとともに、応募して下さった児童生徒の皆さんに感謝申し上げます。

このコンクールは、明るい選挙を実現するためのポスターを描くことで、将来の有権者である児童生徒の皆さんに選挙、政治への関心を持ってもらうきっかけとなることを目的としています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、小学校、中学校、高等学校の臨時休校を余儀なくされたにもかかわらず、応募学校数は6,528校、応募者数は80,639人でした。8万人を超える多くの応募があったことは、選挙への関心が高まりつつあることが伺えます。

審査は、市区町村における第1次審査、都道府県における第2次審査、当協会における中央審査を経て、文部科学大臣・総務大臣賞（連名）18作品、公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（連名）60作品を決定しました。都道府県、市区町村においても、それぞれ賞を設け、表彰式や展示会が行われました。

この作品集は、次回以降の作品募集に資するため、大臣賞・会長賞を一冊にまとめたものです。主権者教育の一環としてもご活用いただければ幸いです。

目次

ごあいさつ	2
目次	3
明るい選挙	4
令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール審査評	6
文部科学省初等中等教育局視学官 東良雅人	
令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集要項	9
令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール応募状況	10
全国優秀作品	
文部科学大臣・総務大臣賞	11
明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞	30

明るい選挙

● 明るい選挙 ●

民主政治は、国民の意思によって政治の在り方が決まる政治です。代表民主主義国家においては、選挙によって選ばれた代表によって政治が行われますが、主権は国民にあります。選挙は国民が政治に参加する最大の機会であり、民主主義の根幹をなすものです。

国や地方の政治が私たちの意見や要望を踏まえて適正に行われるためには、選挙が公正に行なわれ、代表として相応しい立派な人が選ばれなければなりません。そのためには、国民一人ひとりが選挙制度を正しく理解し、政治や選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策を正確に見る眼を備え、大切な自分の一票を進んで投票することが必要です。買収や供応などの不正に惑わされたり、義理人情で投票してはならないことは言うまでもありません。

「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

● 明るい選挙推進運動 ●

選挙を明るく正しいものにしようとする運動は古くから行われ、大正時代末に行われた後藤新平の「政治の倫理化運動」、青年団の父と呼ばれた田澤義鋪らによる「選挙肅正同盟会」などの活動がその起こりです。

男女普通選挙が実現した第2次世界大戦後、昭和26年に行われた統一地方選挙で、選挙違反の検挙者が6万人を超えました。その翌年に予定されていた衆議院選挙に向けての事前運動も激しく行われたので、これではいけないという国民の声が強くなり、新聞社の支援や国会の決議もあって、官民あげての「公明選挙運動」が展開されることになりました。その後名称を「明るい選挙推進運動」と変更し、現在約7万人の方々ボランティアとして参加し、3つの目的を掲げて活動しています。

- ①有権者が、普段から政治と選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこと。
- ②有権者が、こぞって投票に参加すること。
- ③選挙違反のないきれいな選挙が行われること。

運動の発端であった「きれいな選挙」については、選挙違反の数は減ってきておりますが、皆無になったわけではありません。「こぞって投票に参加すること」については、近年投票率の低下が大きく、運動の重点はこちらに移ってきています。「普段から政治と選挙に関心をもってもらう」については、粘り強く活動していかなければと考えています。

● 明るい選挙推進協議会 ●

明るい選挙推進運動は、全国ほとんどの市区町村に設置されている明るい選挙推進協議会によって進められています。団体によりその構成は違いますが、自治会、女性団体、老人会、青年団など各種団体、公民館などの社会教育関係者、地方紙などマスコミ関係者などで構成されています。教師OB、PTA代表者、公募による参加者もいます。

日常的には身近な暮らしの問題をテーマとする話し合い活動や議会傍聴、政治・選挙に関する講演会の開催、市民まつりなどイベントでの呼びかけなどを行っています。選挙時には駅前など街頭に立ち、投票参加や違反のない選挙を呼びかけています。

啓発ポスターについては、ところによっては明るい選挙推進協議会の委員が、作品募集の依頼のために学校を訪問したり、審査員に加わるなどしております。

また、プレ有権者に対する取り組みとして、小学校、中学校、高校の授業時間、生徒会選挙などにおいて、選挙の仕組みを教えたり、実際の投票箱等を使用して模擬選挙を行うなどの出前授業にも取り組んでいるところもあります。

● 明るい選挙推進協会 ●

明るい選挙推進協会は、全国の都道府県・市区町村の「明るい選挙推進協議会」を会員とした公益財団法人です。明るい選挙推進運動の全国組織として、明るい選挙の実現を目標に、全国約7万人のボランティアの方々とともに活動しています。

子供たちの可能性を引き出す ポスターコンクールの意義

文部科学省初等中等教育局視学官 東良 雅人

はじめに

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全国各地で学校の臨時休業を実施するなどの中、多くの不安や迷い、そして、子供たちの顔が見えないもどかしさを抱えながらも、子供たちの成長を願い、少しでもよりよい環境を作りたいと、学校現場で最善を尽くされている教職員の皆様方に対し、心から感謝申し上げます。今、学校が再開された後の学校現場では、これまで経験のない状況下において、休業中の学習の遅れを踏まえた補習の実施や、長期休業の影響で生活リズムが崩れた子供たちへの支援、障害等により特別な支援が必要な子供たちへの支援、配慮が必要な家庭の子供に対するきめ細かな支援など、これまで以上に、教職員が一丸となって子供たち一人一人と向き合い、きめ細かな支援や配慮を続けていただいていることかと思えます。こういった状況乗り越えていくために、引き続き、教職員の皆様方の多大なる御理解・御協力を心よりお願いいたします。

このような状況の中、本コンクールには全国の小学校、中学校、高等学校から、80,639点の作品の応募がありました。今回このコンクールでの審査会では、小学校1年生から高校3年生までの幅広い年齢の作品を見させていただきました。応募作品はそれぞれの年齢での表現のよさがあり、どの作品も児童生徒が「明るい選挙」という共通のテーマを基に例年以上に独創性を発揮した力作ばかりで、審査に当たってはどの年齢の作品を選ぶときも大変苦勞いたしました。

このような質の高い作品が多数応募されるこのコンクールが長年にわたって続けられている背景には、主催者を始め関係者の方々の多大な御努力と、選挙啓発というテーマの重要性を理解して、御指導いただいた保護者や学校の先生方等の多くの方々の支援があったからだと思えます。今回のコンクールに応募した児童生徒は「明るい選挙」というテーマから自分の身の回りや社会に目を向け、自分自身が感じたことや考えたことなどから発想や構想をし、材料や用具を工夫したり試行錯誤したりしながらそれぞれの個性を生かして表現したことと思えます。図画工作や美術の学習において描くことを通して身に付けた資質・能力というものは生涯にわたって生きて働く力となるものであり、全ての児童生徒がそれぞれの発達段階においてこれからの予測が困難な社会を生きる上でも身に付けてほしい資質・能力であります。このような児童生徒の資質・能力の育成とともに、よさや可能性、個性の伸張につながるポスターコンクールが今後も引き続き開催されることを心から願っております。

全ての子供たちの可能性を引き出すこれからの学び

令和2年10月7日に中央教育審議会初等中等教育分科会から「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働

的な学びの実現～（中間まとめ）」が公表されました。この中間まとめでの総論の中にある「急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力」の箇所において示されている内容を、いくつかを抜粋すると以下の様なものがあります。

- 人工知能（AI）、ビッグデータ、Internet of Things（IoT）、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言えるほど劇的に変わる状況が生じつつある。

また、学習指導要領の改訂に関する平成28（2016）年の中央教育審議会答申においても、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきたことが指摘されたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、その指摘が現実のものとなっている。

- 「予測困難な時代」であり、新型コロナウイルス感染症により一層先行き不透明となる中、私たち一人一人、そして社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われている。目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すことなど、まさに新学習指導要領で育成を目指す資質・能力が一層強く求められていると言えよう。
- また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、例えばテレワーク、遠隔診療のように、世の中全体にデジタル化、オンライン化を大きく促進している。学校教育もその例外ではなく、学びを保障する手段としての遠隔・オンライン教育に大きな注目が集まっている。ビッグデータの活用等を含め、社会全体のデジタルトランスフォーメーション加速の必要性が叫ばれる中、これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、ICTはもはや必要不可欠なものであることを前提として、学校教育の在り方を検討していくことが必要である。

これからの教育を考えていく上で、総説で示されている「私たち一人一人、そして社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われている。目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すこと」の重要性は、児童生徒が描くことを通して発揮や獲得する資質・能力や、ポスターを描くことの意義、今後のコンクールの果たす役割などと大きく関連するのではないかと思います。

● 図画工作や美術における表現の活動を通じた学び ●

児童生徒が、これから生きていく社会では、解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解ける力を育むだけでは十分ではなく、社会の加速度的な変化の中でも、社会的・職業的に自立した人間として、伝統や文化に立脚し、高い志と意欲を持って、蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められているといえます。

また、人工知能がいかに進化しようとも、それが行っているのは与えられた目的の中での処理である中で、一方で人間は、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出すことができるのだと思います。そして、多様な文脈が複雑に入り交じった環境の中でも、場面や状況を理解して自ら目的を設定し、その目的に応じて必要な情報を

見だし、情報を基に深く理解して自分の考えをまとめたり、相手にふさわしい表現を工夫したり、答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見だしたりすることができるという強みを持っている存在であることを重視する必要があります。

図画工作や美術などにおける表現活動とは、単に決まった答えを求めるものではなく、児童生徒が答えの無い問いに向かい、一人一人の感性や想像力を働かせて目的を自ら考え出し自分で答えをつくりだす活動です。そしてその過程を本コンクールの意義という観点から考えると、ここでの学びは、単にポスターの描き方や選挙のことを事実としての知識だけで学ぶだけにとどまることなく、「もの」や「ものごと」「自分と他者」との関係性などの理解を深めることにつながっていきます。今回、「明るい選挙啓発ポスターコンクール」に参加した児童生徒は、単にポスターを描くことに終始するだけでなく、ポスターを描くことを通して、それぞれの発達段階に応じて選挙の意味や自分と社会との関係性について考える機会になったと思います。そして描かれた作品は、コンクールの後、多くの人々が見ることで児童生徒の学びは外の世界に大きく広がっていきます。児童生徒が絵を描くということ、そして描いた絵は単にせまい世界の中だけ止まっているものではなく、人と人をつなげ、学びを社会に開いていく大きな力をもっています。

このように多様な文脈の中で自分と社会や世界との関係性を実感することのできる図画工作や美術の学びは、児童生徒一人一人の生き方と大きく関わる学びでもあるのです。また、このような創造活動を通して育まれた資質・能力は、先述した中間まとめが述べているような生活や社会の変化とともにグローバル化する中で世界と向き合うことが求められる社会と豊かに関わっていくために必要な資質・能力として、生涯にわたって生きて働くものとなっていくものであり、ここにポスターコンクールの意義と教育的な価値があるのではないかと思います。

● 児童生徒の発達の段階を重視し、 発揮した資質・能力から作品を審査する ●

審査会では多くの優れた作品から、数点の受賞作品を選びましたが、全国の地方審査を経て中央審査に選ばれた作品ですから、どの作品にもそれぞれの児童生徒のよさがあり、審査では非常に苦労いたしました。審査では、児童生徒の発達の段階を大切に、その時期だからこそ感じ取ったり考えたりする姿を大切にしました。また、出来る限り児童生徒が表現に取り組む主体的な姿や、描くことを通して発揮した資質・能力を作品から読み取るように努力しました。賞を受けられた作品は、地方審査、中央審査の中で多くの審査員の心を捉えた作品です。そこには、その作品にしかない素晴らしいよさがあります。

参考文献

- ・幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）中央教育審議会 平成28年12月21日
- ・中学校学習指導要領（平成29年改訂）解説 美術編 文部科学省 平成29年7月
- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（中間まとめ）中央教育審議会初等中等教育分科会 令和2年10月7日

令和2年度明るい選挙啓発ポスター 作品募集（第72回）要項

①趣旨

私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、立派な政治が行われなければなりません。その政治は選挙によって選ばれた人たちによって行われます。だから選挙が明るく正しく行われなければなりません。そこで、全国の児童、生徒の皆さんに、明るい選挙を呼びかける印象的なポスターをかいていただきたいのです。

②応募規定

(1)内容

明るい選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。

(2)応募資格

小学校児童、中学校・高等学校の生徒

(3)募集期間

令和2年5月11日（月）から令和2年9月11日（金）まで

(4)締切日と提出先

令和2年9月11日（金）までにあなたの住んでいる市区町村または通学している学校のある市区町村の選挙管理委員会に提出してください。※市区町村によって異なることがありますので、詳しくは最寄りの選挙管理委員会にお尋ねください。

(5)画材

描画材料は自由（紙や布など、絵の具材料だけに限りません）

(6)大きさの基準

画用紙の四ツ切（542mm×382mm）、八ツ切（382mm×271mm）もしくはそれに準じる大きさ

(7)応募上のご注意

- ①作品のうら右下に、都道府県名、学校名、学年、氏名（ふりがな）を必ず記入してください。
- ②応募作品は、原則として返却しません。
- ③入賞作品の著作権は主催者に属し、作品は自由に利用させていただきます。
- ④入賞者の学校名、学年及び氏名を公表させていただきます。

③審査

(1)第1次審査

各市区町村選挙管理委員会において、小・中・高別を選びます。

(2)第2次審査（地方審査）

各都道府県選挙管理委員会において、小・中・高別に応募数に応じ、所定の点数を選んだうえ、第3次審査（中央審査）へ提出します。

(3)第3次審査（中央審査）

第2次審査で選ばれた作品について、下記審査員により入賞作品を決定します。

文部科学省・総務省・公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表審査員

④賞

(1)小・中・高別に次の賞を贈ります。

- ①文部科学大臣・総務大臣（連名）の賞状と公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）からの副賞
小学校 各学年1名 中学校 各学年2名 高等学校 各学年2名
- ②公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）の賞状と副賞
小学校・中学校・高等学校 各学年若干名

(2)第3次審査（中央審査）に提出された方全員に、公益財団法人明るい選挙推進協会会長から記念品を贈ります。

⑤発表

11月初旬の予定

主催	公益財団法人明るい選挙推進協会	都道府県選挙管理委員会連合会
	都道府県選挙管理委員会	市区町村選挙管理委員会
後援	文部科学省 総務省	都道府県教育委員会 市区町村教育委員会

公益財団法人明るい選挙推進協会ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>
都道府県選挙管理委員会連合会ホームページ <http://www.todofuken-senkan.jp/>

令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール (第72回) 応募状況

都道府県	応募学校数				応募者数				中央審査提出数				
	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	
北海道・東北	北海道	48	36	3	87	685	337	3	1,025	6	4	1	11
	青森県	14	19	3	36	214	115	23	352	3	3	3	9
	岩手県	59	31	9	99	774	184	183	1,141	7	3	11	21
	宮城県	57	37	4	98	245	189	26	460	3	3	3	9
	秋田県	14	19	10	43	120	137	52	309	3	3	6	12
	山形県	65	38	6	109	756	531	20	1,307	7	6	2	15
	福島県	29	36	7	72	96	297	15	408	3	3	2	8
関東甲信越静	茨城県	138	71	4	213	1,165	690	43	1,898	9	6	5	20
	栃木県	138	58	2	198	734	295	2	1,031	7	3	0	10
	群馬県	134	117	6	257	1,131	2,023	175	3,329	9	12	2	23
	埼玉県	285	107	20	412	3,923	766	159	4,848	18	7	10	35
	千葉県	159	53	13	225	732	348	24	1,104	7	4	3	14
	東京都	389	262	37	688	5,267	8,555	292	14,114	21	28	15	64
	神奈川県	80	40	12	132	868	263	58	1,189	7	3	6	16
	山梨県	82	41	1	124	1,455	1,069	9	2,533	10	9	1	20
	長野県	121	31	3	155	2,899	325	5	3,229	15	4	1	20
	新潟県	34	18	3	55	233	131	78	442	3	3	3	9
静岡県	131	92	16	239	1,186	847	227	2,260	9	7	5	21	
東海・北陸	富山県	25	25	5	55	123	210	91	424	3	3	8	14
	石川県	7	14	4	25	94	86	72	252	3	3	7	13
	福井県	40	17	0	57	291	571	0	862	3	6	0	9
	岐阜県	76	44	9	129	504	281	149	934	6	3	10	19
	愛知県	602	272	16	890	3,785	3,374	899	8,058	17	16	23	56
	三重県	57	29	3	89	382	491	9	882	4	5	1	10
近畿	滋賀県	7	12	1	20	7	146	1	154	3	3	1	7
	京都府	60	26	2	88	511	724	79	1,314	6	7	2	15
	大阪府	117	54	18	189	2,422	1,204	891	4,517	13	9	28	50
	兵庫県	159	101	18	278	842	1,643	199	2,684	7	11	12	30
	奈良県	23	10	2	35	165	86	7	258	3	3	1	7
	和歌山県	7	14	6	27	120	91	121	332	3	3	9	15
中国	鳥取県	11	15	4	30	72	125	127	324	3	3	9	15
	島根県	14	13	4	31	421	80	6	507	5	3	1	9
	岡山県	29	35	4	68	60	326	22	408	3	4	3	10
	広島県	30	26	9	65	410	223	43	676	5	3	5	13
	山口県	50	25	7	82	99	143	123	365	3	3	3	9
四国	徳島県	47	28	4	79	482	283	43	808	5	3	5	13
	香川県	58	28	5	91	303	218	136	657	4	3	10	17
	愛媛県	104	54	17	175	603	499	146	1,248	6	5	10	21
	高知県	4	11	1	16	158	89	115	362	3	3	3	9
九州	福岡県	137	76	18	231	5,331	3,978	359	9,668	21	18	11	50
	佐賀県	49	29	6	84	290	283	35	608	3	3	4	10
	長崎県	42	37	9	88	90	422	70	582	3	5	6	14
	熊本県	38	12	5	55	70	35	30	135	3	2	1	6
	大分県	30	23	3	56	368	370	33	771	4	4	2	10
	宮崎県	67	29	3	99	205	150	4	359	3	3	1	7
	鹿児島県	58	48	5	111	308	938	20	1,266	4	8	2	14
	沖縄県	15	19	9	43	75	102	68	245	3	3	6	12
合 計	3,940	2,232	356	6,528	41,074	34,273	5,292	80,639	299	259	263	821	

※昨年度応募者数 144,895

文部科学大臣・総務大臣賞（18人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	鹿児島県	的場 柚歩	霧島市立国分小学校
小学2年生	高知県	橋村 龍ノ佑	宿毛市立松田川小学校
小学3年生	山梨県	望月 美玖	甲府市立山城小学校
小学4年生	茨城県	横須賀 和瑚	北茨城市立平潟小学校
小学5年生	愛知県	山本 望心	常滑市立小鈴谷小学校
小学6年生	長野県	北原 風空	安曇野市立穂高北小学校
中学1年生	岡山県	野田 千倅	岡山市立京山中学校
	佐賀県	川久保 有華	西松浦郡有田町立西有田中学校
中学2年生	福井県	北岡 千明	坂井市立三国中学校
	京都府	葛城 千勢	京都市立加茂川中学校
中学3年生	岩手県	高橋 里奈	滝沢市立滝沢中学校
	群馬県	山本 堇	沼田市立沼田中学校
高校1年生	埼玉県	菅原 詩野	県立芸術総合高等学校
	大阪府	近藤 杏珠	大阪高等学校
高校2年生	宮城県	礮部 光優	宮城野高等学校
	石川県	倉本 遥加	県立工業高等学校
高校3年生	愛知県	山本 武蔵	山本学園情報文化専門学校高等課程
	香川県	岡部 珠緒	県立高松工芸高等学校



小学1年生 的場 柚歩 鹿児島県 霧島市立国分小学校

投票箱を囲んで画面いっぱいに、たくさんの笑顔の人が描かれていて、選挙の大切さを楽しく表現しています。この絵のようにみんなが心躍るような楽しい気持ちで選挙に向かってほしいという作者の気持ちが伝わってきます。



小学2年生 橋村 龍ノ佑 高知県 宿毛市立松田川小学校

投票用紙に描かれている一人一人の笑顔がとても素敵なポスターです。投票用紙が投票箱に吸い込まれていくような表現がとても面白く、一人一人の一票が、笑顔を未来に届けることにつながっていくことを伝えてくれます。



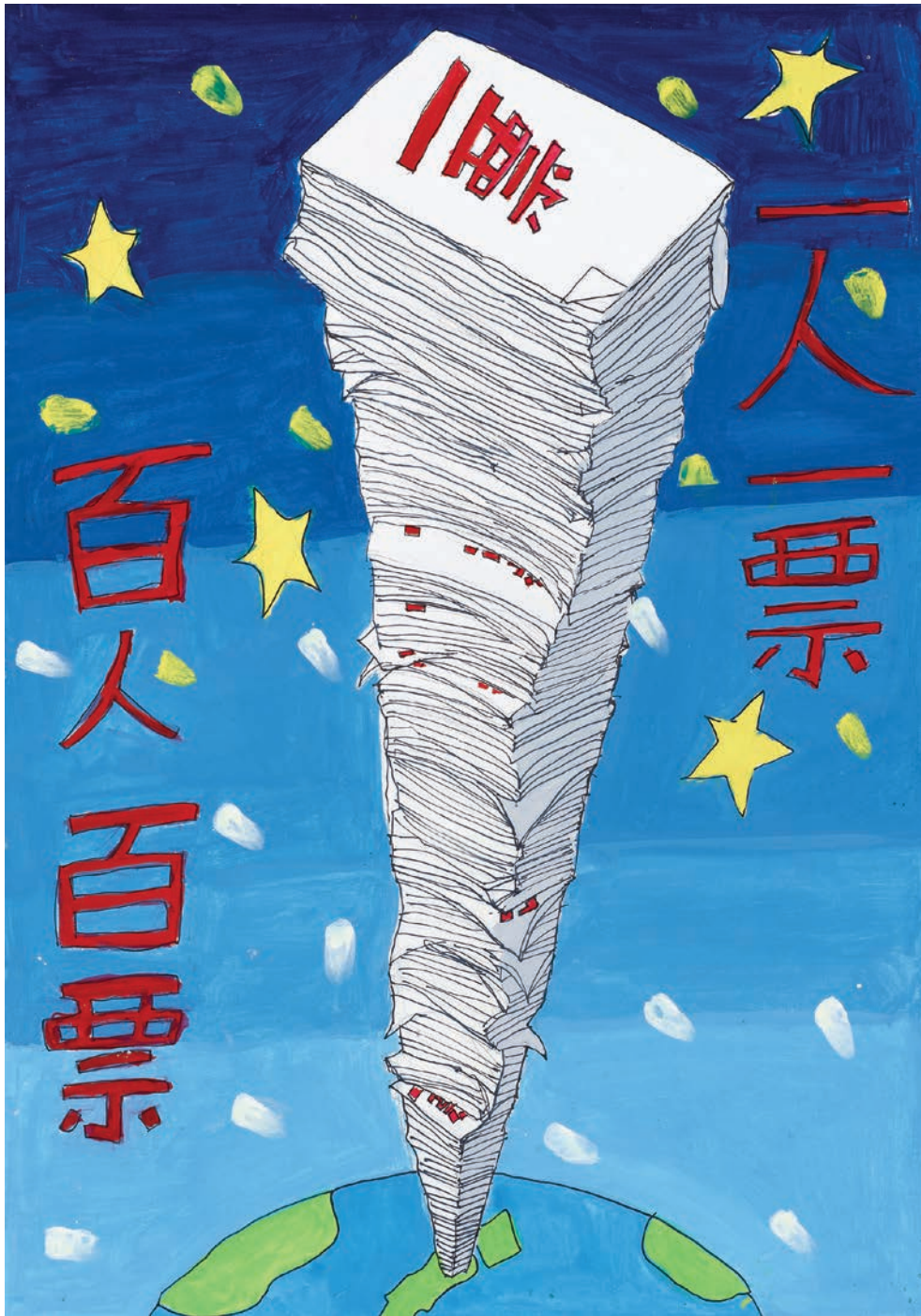
小学3年生 望月 美玖 山梨県 甲府市立山城小学校

投票箱を中心にして様々な動物たちが投票する場面をうまく組み合わせて表しています。カラフルに描かれたそれぞれの動物たちの投票用紙を持つ仕草がとても愛らしく、見ていてとても楽しいポスターです。



小学4年生 横須賀 和瑚 茨城県 北茨城市立平潟小学校

投票箱を画面から飛び出るようにしたアイデアが秀逸です。投票箱を囲むように明るい笑顔の人々が描かれ、「あなたの一票が未来の笑顔に」の標語と合わせて、楽しい気持ちで選挙に向かってほしい作者の気持ちが伝わってきます。



小学5年生 山本 望心 愛知県 常滑市立小鈴谷小学校

空高く積み上がった投票用紙が、私たち一人一人が責任を持って投票することの大切さを伝えています。投票用紙のはみ出た部分もしっかりと描いたり、空の色を変化させたりなどの丁寧な表現が、より魅力のあるポスターにしています。



小学6年生 北原 風空 長野県 安曇野市立穂高北小学校

ピシッと駒を打ち、「明るい未来に王手！」という声が聞こえてきそうです。考えたことが盤上に具現化され、それを読み取ることが求められる将棋を描くことで、選挙についてしっかりと考えることの大切さが伝わってきます。



中学1年生 野田 千倅 岡山県 岡山市立京山中学校

一つ一つがとても丁寧でリアルに描かれたジグソーパズルで表された日本の地図が、見る人に強い印象を与えています。背景とは対照的に標語はシンプルに描くことで、選挙の大切さがより明確に見る人に伝わってきます。



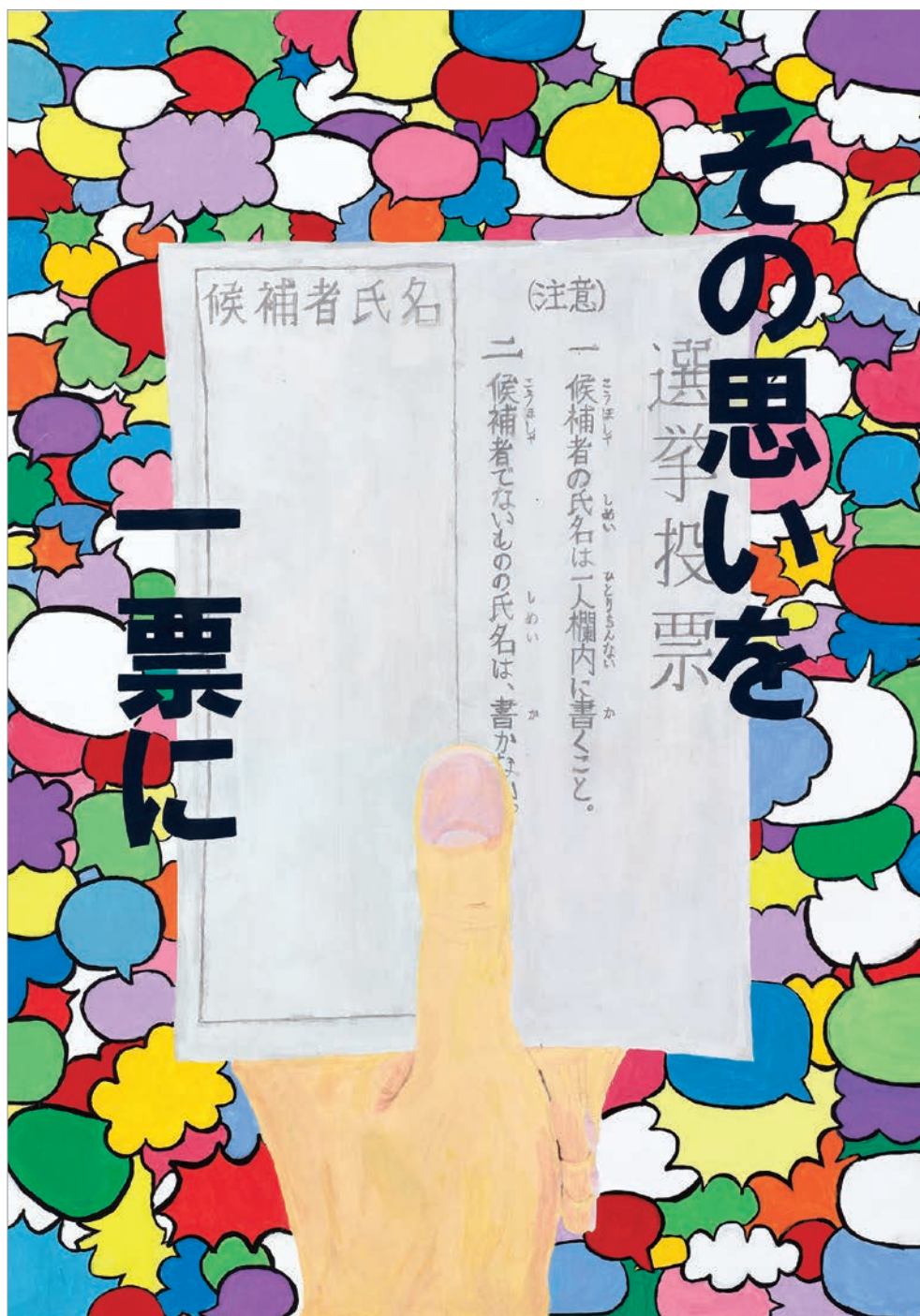
中学1年生 川久保 有華 佐賀県 西松浦郡有田町立西有田中学校

「その一票で開こう明るい未来」の標語の中にある「開」の文字が選挙に向かって歩く道と扉のように表現されています。そのアイデアが秀逸であるとともに、高い構成力で見ると人の心に残る印象的な作品に仕上がっています。



中学2年生 北岡 千明 福井県 坂井市立三国中学校

それぞれの年齢層のキャラクターが投票に向かう様子が愛らしく丁寧に描かれていますが、それぞれの姿と投票箱が「せ」「ん」「き」「よ」の文字を表しています。絵柄の楽しさと気付いたときの驚きがある印象に残るポスターです。



中学2年生 葛城 千勢 京都府 京都市立加茂川中学校

投票用紙を持つ手の背景には、インターネットのSNS等でよく使われる多くのつぶやきが形と色で表されています。SNSは今や私たちの生活の中に根付いていますが、そのような「今」をととても上手に取り入れて表現しています。



中学3年生 高橋 里奈 岩手県 滝沢市立滝沢中学校

投票用紙を入れた改札機から出てくる電車が見る人に飛び込んできます。光り輝き迫力のある電車と「投票用紙は未来行きのきっぷ」の標語とが効果的に組み合わせられて、選挙の大切さを効果的に表現しています。



中学3年生 山本 董 群馬県 沼田市立沼田中学校

漫画の一コマを使うアイデアが斬新です。画面のほとんどを文字だけで構成をしていますが、「投票率低下！至急投票を！」の台詞と「ズズズズ…」というオノマトペの組み合わせから、とても迫力ある作品に仕上がっています。



高校1年生 菅原 詩野 埼玉県 県立芸術総合高等学校

期日前投票の予定に向かってカレンダーの上を歩いているアイデアがとても面白い作品です。私たちの日常の生活においてカレンダーは特別なものではないですが、新たな視点で見つめることで新鮮な表現になっています。



ぼくらの未来を
あなたに託す

高校1年生 近藤 杏珠 大阪府 大阪高等学校

足下だけを描くことで18歳の選挙権について上手く表現しています。画面の中で全てを描くのではなく、あえて部分だけを描くことで、見る人の想像力を高め、伝えたいことをより効果的に表しています。



高校2年生 磯部 光優 宮城県 宮城野高等学校

「選挙」の文字がシンプルに描かれた背景によって強調され、まず見る人の目に入ります。赤い文字が「共に手を携える」を表していることに気付いたとき、この作品の奥深さとともに、より選挙の大切さを考えさせてくれます。



高校2年生 倉本 遥加 石川県 県立工業高等学校

投票用紙と重なりながら描かれている風景が、私たちが目指すこれからの社会を表現しています。画面全体が優しいタッチと色彩で描かれ、心豊かに生きるために一人一人の一票の大切さを見る人に感じさせてくれます。



高校3年生 山本 武蔵 愛知県 山本学園情報文化専門学校高等課程

力強いタッチで描かれていて強烈な印象を与える側面と、手や足がつったことの経験がある人なら「手がつるほど重い一票」の標語と合わせて、少し笑ってしまうようなユーモアいっぱいの側面との両面をもっている作品です。



高校3年生 岡部 珠緒 香川県 県立高松工芸高等学校

「選挙に行こう」の文字の一つ一つが、キャラクターになっているとても楽しい作品です。シンプルに描かれた線とはっきりとした色合いで動きのある構成になっていて、子供から大人まで楽しめるポスターになっています。

**公益財団法人明るい選挙推進協会会長・
都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（60人）**

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	愛知県	嶋崎 遼	西尾市立花ノ木小学校
	福岡県	宮本 由愛	糟屋郡篠栗町立篠栗小学校
小学2年生	神奈川県	高森 千遥	海老名市立杉本小学校
	広島県	平田 こはる	広島市立五月が丘小学校
小学3年生	青森県	中野 心晴	むつ市立第三田名部小学校
	熊本県	橋本 美伽	荒尾市立荒尾第一小学校
小学4年生	千葉県	関 航大朗	茂原市立茂原小学校
	福井県	石田 梨紗	あわら市金津小学校
	福岡県	阿比留 あおい	糟屋郡篠栗町立篠栗小学校
小学5年生	秋田県	金田一 みの李	鹿角市立十和田小学校
	山形県	坂田 光希	東置賜郡川西町立吉島小学校
	東京都	渡邊 綾香	葛飾区立花の木小学校
	富山県	谷川 綾香	滑川市立寺家小学校
小学6年生	北海道	本間 月雫	函館市立亀田小学校
	青森県	大橋 碧空	三沢市立木崎野小学校
	福島県	滝澤 飛雅	いわき市立小名浜東小学校
	栃木県	先崎 結莉奈	栃木市立大平中央小学校
	埼玉県	山崎 春空	戸田市立戸田第二小学校
	東京都	中山 祐寧菜	品川区立豊葉の杜学園
	長野県	仁科 樹希	中野市立平野小学校
	大阪府	中本 優里菜	守口市立梶小学校
	島根県	小村 愛心	出雲市立荒木小学校
中学1年生	栃木県	小泉 うた	芳賀郡益子町立益子中学校
	東京都	五弓 実里	国分寺市立第三中学校
	静岡県	三保家 理湖	浜松市立北星中学校
	兵庫県	黒岩 きらら	神戸市立渚中学校
	長崎県	藤川 茉那	佐世保市立中里中学校

学年	都道府県	氏名	学校名
中学2年生	秋田県	佐藤 美月	横手市立横手明峰中学校
	福島県	佐藤 璃子	福島市立福島第二中学校
	栃木県	中野 沙菜	栃木市立皆川中学校
	東京都	島野 陽菜	文京区立茗台中学校
	新潟県	五十嵐 菜那	新潟市立宮浦中学校
	大阪府	角田 莉央	大阪市立北稜中学校
	長崎県	林田 滯音	雲仙市立愛野中学校
中学3年生	東京都	川島 千鶴	東村山市立東村山第六中学校
	静岡県	本間 唯世	磐田市立磐田第一中学校
	富山県	寺島 葵	富山市立速星中学校
	滋賀県	李 美棋	県立水口東中学校
	福岡県	舞田 優樂	糸島市立前原西中学校
	宮崎県	佐藤 花歩	延岡市立北方学園中学校
	沖縄県	渡邊 瑚々	宜野湾市立真志喜中学校
高校1年生	宮城県	大和田 莉穂	涌谷高等学校
	埼玉県	椎野 円	県立芸術総合高等学校
	山口県	石田 羽菜	県立防府商工高等学校
	福岡県	杉山 結香	県立青豊高等学校
	長崎県	古里 拓馬	県立鶴南特別支援学校五島分校高等部
	鹿児島県	下野 亜実	県立鶴丸高等学校
高校2年生	秋田県	門脇 七海	県立角館高等学校
	千葉県	本田 葉乃佳	県立千葉女子高等学校
	石川県	深井 乙斗把	県立工業高等学校
	岐阜県	和田 陽菜	県立岐阜総合学園高等学校
	大阪府	井上 樹那	関西福祉科学大学高等学校
	和歌山県	菅原 由紗	和歌山市立和歌山高等学校
	愛媛県	西村 堇	県立松山北高等学校
	愛媛県	金 娜莉	県立松山南高等学校砥部分校
	福岡県	盛也 茜	九州産業大学付属九州高等学校
高校3年生	山形県	金子 夢生	米沢中央高等学校
	静岡県	川村 未向	県立伊東高等学校城ヶ崎分校
	富山県	長谷 奏音	県立小杉高等学校
	愛媛県	鎌倉 莉里子	県立今治工業高等学校



小学1年生 嶋崎 遼
愛知県 西尾市立花ノ木小学校



小学1年生 宮本 由愛
福岡県 糟屋郡篠栗町立篠栗小学校



小学2年生 高森 千遥
神奈川県 海老名市立杉本小学校



小学2年生 平田 こはる
広島県 広島市立五月が丘小学校



小学3年生 中野 心晴
青森県 むつ市立第三田名部小学校



小学3年生 橋本 美伽
熊本県 荒尾市立荒尾第一小学校



小学4年生 関 航大朗
千葉県 茂原市立茂原小学校



小学4年生 石田 梨紗
福井県 あわら市金津小学校



小学4年生 阿比留 あおい
福岡県 糟屋郡篠栗町立篠栗小学校



小学5年生 金田一 みの李
秋田県 鹿角市立十和田小学校



小学5年生 坂田 光希
山形県 東置賜郡川西町立吉島小学校



小学5年生 渡邊 綾香
東京都 葛飾区立花の木小学校



小学5年生 谷川 綾香
富山県 滑川市立寺家小学校



小学6年生 本間 月雫
北海道 函館市立亀田小学校



小学6年生 大橋 碧空
青森県 三沢市立木崎野小学校



小学6年生 滝澤 飛雅
福島県 いわき市立小名浜東小学校



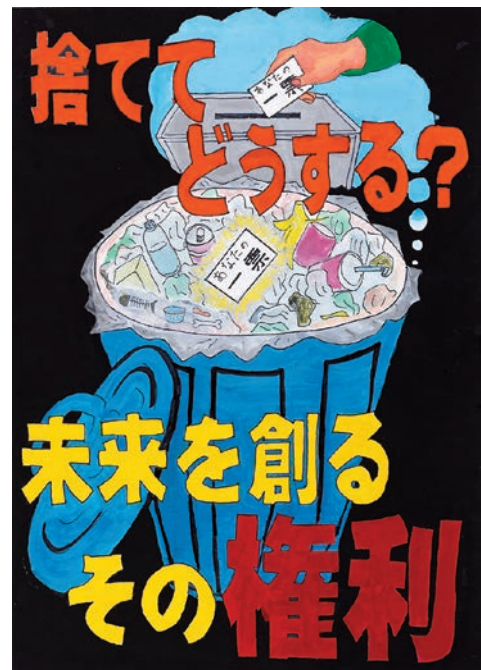
小学6年生 先崎 結莉奈
栃木県 栃木市立大平中央小学校



小学6年生 山崎 春空
埼玉県 戸田市立戸田第二小学校



小学6年生 中山 祐寧菜
東京都 品川区立豊葉の杜学園



小学6年生 仁科 樹希
長野県 中野市立平野小学校



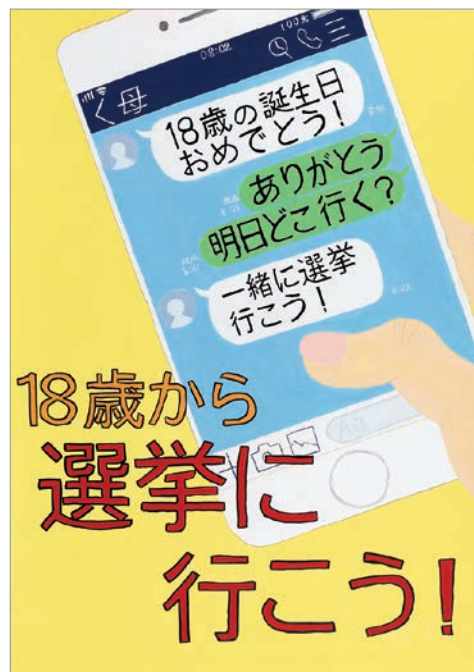
小学6年生 中本 優里菜
大阪府 守口市立梶小学校



小学6年生 小村 愛心
島根県 出雲市立荒木小学校



中学1年生 小泉 うた
栃木県 芳賀郡益子町立益子中学校



中学1年生 五弓 実里
東京都 国分寺市立第三中学校



中学1年生 三保家 理湖
静岡県 浜松市立北星中学校



中学1年生 黒岩 きらら
兵庫県 神戸市立渚中学校



中学1年生 藤川 茉那
長崎県 佐世保市立中里中学校



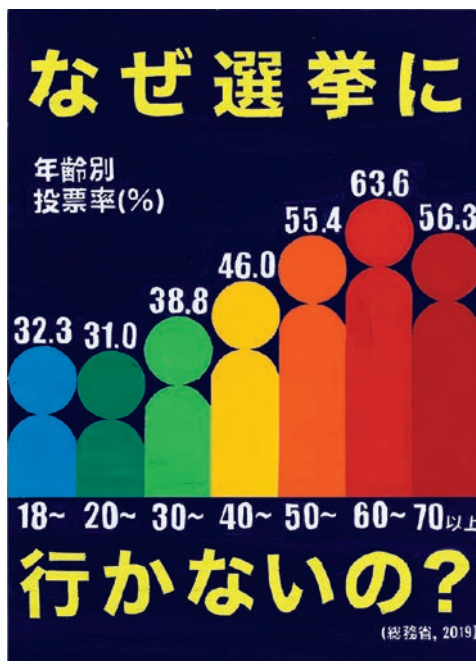
中学2年生 佐藤 美月
秋田県 横手市立横手明峰中学校



中学2年生 佐藤 璃子
福島県 福島市立福島第二中学校



中学2年生 中野 沙菜
栃木県 栃木市立皆川中学校



中学2年生 島野 陽菜
東京都 文京区立茗台中学校



中学2年生 五十嵐 菜那
新潟県 新潟市立宮浦中学校



中学2年生 角田 莉央
大阪府 大阪市立北稜中学校



中学2年生 林田 滯音
長崎県 雲仙市立愛野中学校



中学3年生 川島 千鶴
東京都 東村山市立東村山第六中学校



中学3年生 本間 唯世
静岡県 磐田市立磐田第一中学校



中学3年生 寺島 葵
富山県 富山市立速星中学校



中学3年生 李 美棋
滋賀県 県立水口東中学校



中学3年生 舞田 優樂
福岡県 糸島市立前原西中学校



中学3年生 佐藤 花歩
宮崎県 延岡市立北方学園中学校



中学3年生 渡邊 瑚々
 沖縄県 宜野湾市立真志喜中学校



高校1年生 大和田 莉穂
 宮城県 涌谷高等学校



高校1年生 椎野 円
 埼玉県 県立芸術総合高等学校



高校1年生 石田 羽菜
 山口県 県立防府商工高等学校



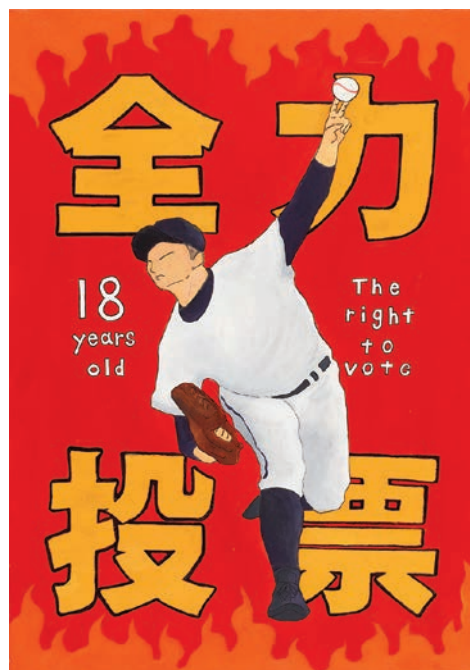
高校1年生 杉山 結香
福岡県 県立青豊高等学校



高校1年生 古里 拓馬
長崎県 県立鶴南特別支援学校五島分校高等部



高校1年生 下野 亜実
鹿児島県 県立鶴丸高等学校



高校2年生 門脇 七海
秋田県 県立角館高等学校



高校2年生 本田 葉乃佳
千葉県 県立千葉女子高等学校



高校2年生 深井 乙斗把
石川県 県立工業高等学校



高校2年生 和田 陽菜
岐阜県 県立岐阜総合学園高等学校



高校2年生 井上 樹那
大阪府 関西福祉科学大学高等学校



高校2年生 菅原 由紗
和歌山県 和歌山市立和歌山高等学校



高校2年生 西村 董
愛媛県 県立松山北高等学校



高校2年生 金 娜莉
愛媛県 県立松山南高等学校砥部分校



高校2年生 盛也 茜
福岡県 九州産業大学附属九州高等学校



高校3年生 金子 夢生
山形県 米沢中央高等学校



高校3年生 川村 未向
静岡県 県立伊東高等学校城ヶ崎分校



高校3年生 長谷 奏音
富山県 県立小杉高等学校



高校3年生 鎌倉 莉里子
愛媛県 県立今治工業高等学校

このキャラクターは？



名前は「選挙のめいすいくん」。

明るい選挙推進運動のイメージキャラクターとして2000年4月に誕生しました。

「明るい」の「明」と、「推進」の「推」を引用して名前が付けられました。

投票を呼びかけるイベントや街頭啓発などで活躍しています。

「選挙のめいすいくん」をよく見てみると…

実は「選挙のめいすいくん」は投票箱をモチーフにしたキャラクター。頭にあるトラのしま柄のような2本の縦線は投票用紙の挿入口なのです。また投票箱の鍵をモチーフにした尻尾や、明るい選挙の実現に向かっていくための翼もついています。見かけた時はぜひ確かめてください。

明るい選挙啓発ポスターコンクール 令和2年度 全国優秀作品集

発行日 令和3年1月15日

編集・発行 公益財団法人明るい選挙推進協会

住所 東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町7F

電話 03-6380-9891

ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。